

令和6年6月28日

令和6年第2回神奈川県議会定例会

産業労働常任委員会報告資料

産業労働局

目 次

	ページ
I 「さがみロボット産業特区」の取組について……………	1
II ベンチャー支援の取組について ……………	7
III 「中小企業制度融資」について ……………	12
IV 若年者、中高年齢者及び女性等の就業支援の取組について ……………	14
V 労働相談の取組について ……………	18

I 「さがみロボット産業特区」の取組について

1 取組の概要

「さがみロボット産業特区」（以下「特区」という。）では、生活支援ロボットの实用化・普及を通じた県民生活の安全・安心の確保及び地域社会の活性化に取り組んでおり、ロボットが社会に溶け込み、いのちや生活を支えるパートナーとして活躍する「ロボットと共生する社会」の実現をめざしている。

第3期計画（令和5～9年度）では、特区内の市町等と連携し、中小企業のロボット産業への参入支援と、ロボットの社会実装の加速化に重点的に取り組んでいく。

2 数値目標と進捗状況

国から認定された第3期計画（令和5～9年度）において、6つの数値目標を設定している。

○ 特区発ロボットの商品化状況(累計) 令和6年3月31日現在(件)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	25	6	12	18	24	30
実績値	27	12	-	-	-	-

○ 実証実験等の実施件数(累計) 令和6年3月31日現在(件)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	200	60	120	180	240	300
実績値	289	55	-	-	-	-

○ 企業誘致施策等を活用したロボット関連企業の件数(累計)

令和6年3月31日現在(件)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	35	5	11	18	26	35
実績値	19	4	-	-	-	-

○ 生活支援ロボットに関する特区的取組に参加する県内中小企業の数(累計)

令和6年3月31日現在(社)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	100	25	55	90	130	170
実績値	67	10	-	-	-	-

○ 生活支援ロボットの導入施設数(累計)

令和6年3月31日現在(箇所)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	250	100	200	300	400	500
実績値	359	21	-	-	-	-

○ 生活支援ロボットを体験する取組に参加した人数(累計)

令和6年3月31日現在(人)

	第2期	第3期				
	平成30～ 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
目標値	90,000	10,000	25,000	40,000	60,000	90,000
実績値	82,435	23,404	-	-	-	-

3 主な取組

(1) 参入促進・開発支援

ア 中小企業ロボット産業参入促進事業

県内中小企業のロボット産業への参入を促進するために、企業やロボット部品等に関する情報収集を行い、支援機関職員がロボット開発企業と県内の部品製造企業等の受発注マッチングをより効率的に行えるデータベースを構築する。

イ ロボット関連企業の参加促進の取組

県内中小企業等のロボット製品及び技術シーズをロボット関連の展示会や特区ホームページ内マッチングサイトを通じて積極的に発信することにより、企業の販路拡大やロボット関連産業への参入を促進、企業間の交流やマッチングを図る。

令和2年度から、ロボットへの活用の可能性のある優れた技術を紹介し、企業間交流を促進する「ロボット技術マッチングサイト」を提供している。

令和6年3月31日現在の掲載件数は、55社(57技術)となっている。

ウ プレ実証フィールドの運営

平成26年度に相模原市南区の元県立新磯高等学校を活用して「プレ実証フィールド」を開設した。ドローン実験用ネット、実験用模擬道路などの設備を備え、本格的な実証実験を行う前に模擬的な環境でロボットの完成度を高める「プレ実証（実験）」の場として提供している。

エ ドローン開発支援事業【令和6年度新規事業】

特区発ドローンの実用化を促進するため、県内産業が抱える課題の解決に資するドローンの開発・実証を支援する。

(2) 実用化促進

ア 介護ロボット実用化促進事業【令和6年度新規事業】

介護施設、在宅介護が抱える課題を解決するため、介護に適した介護ロボットの实証及び効果検証を行う。また、実証結果を分析することで、実用化に向けた改善を行い、介護ロボットの開発を促進する。

イ ロボット実用化促進事業（重点プロジェクト）

県民生活に大きなインパクトを与えるなど発信力に優れた開発プロジェクトを重点プロジェクトに位置づけ、継続的に支援する。

令和6年5月31日現在の指定プロジェクトは19件となっている。

(3) 導入支援

ア ロボット実装促進事業

ロボットの実用化と普及を促進するため、ロボット実装促進センターにおいて、施設とロボットのマッチング及び実装をワンストップで支援する。併せて、より現場のニーズに即したロボットの開発・改良を支援する。

イ ロボット導入支援事業

特区の取組を活用して商品化された生活支援ロボットについて、民間施設等への導入の促進を図るため、ロボットの導入に対して補助する。

(4) 普及・定着

ア ロボット企業交流拠点事業【令和6年度新規事業】

企業間交流とロボットの普及を促進するため、特区内に、ロボット企業や地域の住民等が利用できる交流拠点を設置し、企業向け商談会を開催するとともに、来場者向けにロボットに触れる機会を提供する。

イ 最先端技術活用ロボット普及啓発事業

県民や産業界に向けて、特区発ロボットを身近に体験できる機会を創出するため、ARやVR等の最先端技術を活用した普及啓発を行う。

ウ ロボット体験機会の提供

藤沢市辻堂のロボット展示施設「ロボテラス（アイクロス湘南内）」に、ロボットを実際に体験できる施設（コーナー）を常設している。

また、県内で行われる産業普及のイベント等に出張し、施設外でも生活支援ロボットを体験してもらう機会を設ける。

エ モニター制度

生活支援ロボットの普及・導入を促進するため、介護施設等で、購入決定前に1週間～1か月程度試用してもらう取組を実施している。

今年度は、14種類のロボットを対象に実施している。

オ 企業誘致の推進

企業誘致施策「セレクト神奈川NEXT」等のインセンティブ（企業立地促進補助金、不動産取得税の不均一課税、低利融資、企業誘致促進賃料補助金等）や、重点プロジェクトをはじめとする企業へのロボット実用化支援の取組などを通じて、ロボット関連企業の誘致に引き続き取り組んでいく。

(参考) これまでに商品化したロボット (令和6年3月31日現在)

※【 】は商品化年月

1	手指のリハビリを支援するパワーアシストハンド【平成26年6月】
2	人工筋肉による遠隔建機操縦ロボット「アクティブロボSAM」【平成27年4月】
3	心の健康計測システム【平成27年5月】
4	脊髄損傷者用歩行アシスト装置【平成27年6月】
5	見守り機能型服薬管理支援機器・システム開発【平成27年10月】
6	赤外光センサーを使用した高齢者見守りシステム【平成27年10月】
7	介護施設における認知症患者を含む高齢者向けコミュニケーションロボット【平成27年12月】
8	足首のリハビリを支援するパワーアシストレッグ【平成28年10月】
9	人の行きたい方向を察知し先導するガイダンスロボット【平成29年4月】
10	居室設置型移動式水洗トイレ【平成29年10月】
11	多くの日常生活動作を可能にする上肢筋電義手【平成30年4月】
12	手指のリハビリを支援するパワーアシストハンド (エアレハ500)【令和元年6月】
13	腰への負担を軽減するマッスルスーツ【令和元年11月】
14	災害対応ロボット等に搭載する高分解能電子走査電波センサー【平成28年5月】
15	火山活動対応ドローン【平成28年12月】
16	火山活動対応地すべり警報システム【平成28年12月】
17	人の立ち入りが困難な現場での情報収集ロボット【平成29年6月】
18	災害対応マルチローター機【平成29年5月】
19	深海用水中ドローン【平成30年6月】
20	見守り介護ロボット「a a m s」【平成31年3月】
21	高齢者生活みまもりロボット【平成30年4月】
22	パワーアシストリスト【平成30年5月】
23	ケアピット ～AIに基づく運動指導～【平成30年11月】
24	無線操作による360°水中映像モニタリングロボット【令和元年5月】
25	床面ひび割れ検知ロボット【令和元年7月】
26	トンネルスキャンロボット【令和2年9月】
27	日常生活を支援するための人の手の動きを再現するロボットハンド D-Hand 5PT【令和3年2月】
28	日常生活を支援するための人の手の動きを再現するロボットハンド D-Hand 5ST【令和3年2月】
29	AI清掃ロボット Whiz【令和2年8月】
30	AI清掃ロボット Whiz i【令和2年10月】
31	殺菌灯搭載ロボットSR-UVC Model-A【令和3年4月】
32	殺菌灯搭載ロボットSR-UVC Model-B【令和3年4月】
33	殺菌灯搭載ロボットSR-UVC Model-C【令和3年4月】
34	リモート機能訓練支援サービス【令和3年4月】
35	パワーアシスト駆動制御ボックスAIREHA CIP-50【令和3年4月】
36	感染症対策 AI ロボット「AYUDA-MiraMe」【令和3年5月】
37	マッスルスーツGS-ARM【令和3年5月】

38	歩行トレーニングロボットcurara®【令和3年12月】
39	水中ドローン型ダム調査ロボットシステム【令和4年3月】
40	清掃ロボットCL-02（ワイパー清掃タイプ）【令和4年5月】
41	マッスルスーツGS-BACK【令和4年8月】
42	temi orchestrator（自律走行型パーソナルロボット「temi」向けソフトウェア）【令和4年9月】
43	高齢者福祉施設向け介護レクリエーションロボット「ロボシルバーパーク」【令和5年5月】
44	マッスルスーツ Exo-Power【令和5年5月】
45	エッセンシャルワーカー向けメンタルヘルスチェックロボット「Care Cube」【令和5年7月】
46	インフラ点検ロボット「Float Arm」【令和5年10月】
47	パワーアシストハンド「まいりハ」【令和5年12月】
48	案内用ロボット「Cruzr（クルーザー）」【令和5年12月】
49	広告周回・最新配信ロボット「CADEBOT（ケイドボット）」【令和5年12月】
50	アームによりエレベーター等の操作が可能な自律移動ロボット「GAEMI（ゲミ）」【令和6年1月】
51	清掃・警備・お知らせの複合型サービスロボット「Toritoss」【令和6年3月】
52	協働運搬（搬送）ロボット「サウザー（スタンダード）」【令和6年3月】
53	協働運搬（搬送）ロボット「サウザー（ミニ）」【令和6年3月】
54	協働運搬（搬送）ロボット「サウザー（ジャイアント）」【令和6年3月】

II ベンチャー支援の取組について

1 取組の概要

県経済を牽引するベンチャー企業の創出と成長を促進するため、起業家の創出拠点「HATSU鎌倉」、「AGORA Hon-atsugi」、「ARUYO ODAWARA」や、ベンチャー企業の成長促進拠点「SHINみなとみらい」において、ベンチャー企業の成長段階に応じた支援プログラムを実施している。また、クラウドファンディングサイトを活用し、ベンチャー企業に対し資金調達等の機会を提供している。



2 支援プログラムを実施している拠点の概要

(1) 起業家の創出拠点

起業準備者をベンチャー企業へ育てていくため、県内3か所の支援拠点において、起業家や起業準備者によるコミュニティの形成を推進するとともに、起業に向けた実践的な支援プログラムを提供している。

ア HATSU鎌倉

所在地	鎌倉市大町1丁目9-22
開設年月日	令和元年11月26日
施設の機能	シェアオフィス、会議室
施設運営者	株式会社あゆみの

イ AGORA Hon-atsugi

所在地	厚木市泉町1-1 本厚木ミロード1 (6階)
開設年月日	令和4年7月15日
施設の機能	シェアオフィス、会議室
施設運営者	株式会社小田急SCディベロップメント

ウ ARUYO ODAWARA

所在地	小田原市栄町2-12-10 1階
開設年月日	令和4年9月30日
施設の機能	シェアオフィス、会議室
施設運営者	一般財団法人 八三財団

(2) ベンチャー企業の成長促進拠点

ベンチャー企業を育成し、成長を加速させるため、支援拠点を横浜市内に設置し、ベンチャー企業等によるコミュニティの形成を推進するとともに、企業間の連携プロジェクトの創出を図るため、ベンチャー企業と県内企業との交流の場を提供している。

SHINみなとみらい

所在地	横浜市西区みなとみらい3丁目7-1 オーシャンゲートみなとみらい10階 WeWorkオーシャンゲートみなとみらい内
開設年月日	令和元年11月1日
施設の機能	県専用スペース (30席)、WeWork内の会議室 等
施設運営者	神奈川県

3 支援プログラムの概要

(1) 起業家創出促進事業

若年層による起業を促進するため、県内にキャンパスを有する大学、起業支援に積極的な市町村や起業支援機関等と連携し、起業家交流会、ビジネスプラン作成講座、ビジネスプランコンテストを実施する。

<実施状況>

区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度 (見込)
起業家交流会参加者（名）	480	648	(560)
ビジネスプラン作成支援 講座参加者数（名）	236	168	(150)
ビジネスプラン コンテスト参加者数（名）	92	90	(90)

<令和6年度の取組>

- ・ 先輩起業家との交流会の実施（6月～9月）
- ・ ビジネスプラン作成支援講座の実施（7月～10月）
- ・ ビジネスプランコンテストの実施（12月）

(2) **イノベーション人材交流拠点事業**（HATSU起業家支援プログラム）

鎌倉、厚木、小田原の各支援拠点において、起業準備者が起業に必要な知識や技術等を習得する講座を開催するとともに、ベンチャー企業の実務に触れる機会の提供を行う。また、有望な起業準備者に対する集中支援プログラムを実施する。

<実施状況>

区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度 (見込)
集中支援プログラム 支援者数（名）	30	26	(30)
事業化着手数（件）	21	19	(15)

<令和6年度の取組>

- ・ 起業の実現に向けた講座・交流会実施（4月～3月）
- ・ 専門家による事業相談の実施（4月～3月）
- ・ 先輩起業家や地域企業との交流会の実施（4月～3月）
- ・ 有望な起業準備者に対する短期集中支援（チャレンジャー制度）の実施（7月～2月）

(3) **スタートアップ支援事業**（かながわ・スタートアップ・アクセラレーションプログラム）

ベンチャー企業を育成するため、ベンチャー企業の事業推進に資する講座を開催するとともに、社会課題の解決に取り組み、今後の成長が見込める有望なベンチャー企業等を対象に短期伴走型支援のアクセラレーションプログラムを実施する。

<実施状況>

区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度 (見込)	
講座実施回数（回）	10	10	(2)	
アクセラレーション プログラム支援企業数（件）	10	10	シード編	(10)
			アーリー編	(10)

<令和6年度の取組>

- ・ 起業家精神及びスキルを養う講座の開催（5月、9月）
- ・ アクセラレーションプログラム（シード編）の実施（6月～8月）
- ・ アクセラレーションプログラム（アーリー編）の実施（9月～3月）

(4) **成長期ベンチャー交流拠点事業**（ビジネスアクセラレーターかながわ）

ア 成長期ベンチャー交流拠点事業

ベンチャー企業の成長を加速させるため、ベンチャー企業と大企業によるオープンイノベーションの創出に向けた支援を実施するとともに、企業間連携の促進を目的として、ベンチャー企業や大企業、支援機関等が参画する協議会を運営する。

また、県内各地の支援機関や市町村等と連携したネットワークにより、有望なベンチャー企業を発掘・支援する。

<実施状況>

区分	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度 (見込)
協議会加入者数（者）<累計>	530	644	(700)
連携プロジェクト創出数（件）	22	26	(17)

<令和6年度の取組>

- ・ 年間を通じて企業間のマッチングを行い、連携プロジェクトの創出を支援（4月～3月）
- ・ 県内各地の支援機関や投資家等と交流を図り、ベンチャー企業を発掘・支援（4月～3月）

イ 成長期ベンチャー支援事業

大企業と連携して社会課題の解決に取り組むベンチャー企業に対して、新たなサービス等の開発・実証に必要な経費の一部を支援する。

<令和6年度の取組>

- ・ 大企業と連携して社会課題の解決を目指すベンチャー企業からプロジェクトを募集し、新たなサービス等の開発・実証を支援するため、マッチングイベントや個別伴走支援などの実施。（6月～3月）

ウ 脱炭素推進ベンチャー支援事業

ベンチャー企業による脱炭素化の取組を促進するため、脱炭素の推進に資する新たなサービス等の開発・実証に対して支援を行う。

<令和6年度の取組>

- ・ 大企業と連携して脱炭素推進に取り組むベンチャー企業からプロジェクトを募集し、新たなサービス等の開発・実証を支援するため、マッチングイベントや個別伴走支援などの実施。（6月～3月）

4 ベンチャー限定クラウドファンディング「かなエール」の運営

民間のクラウドファンディングサービス企業と連携し、新規事業に挑戦するベンチャー企業に対して、クラウドファンディングによる資金調達やテストマーケティングの機会を提供する。

<実施状況>

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (見込)
説明会・個別相談参加者数(者)	27	24	(20)
掲載プロジェクト数(件)	4	5	(5)

Ⅲ 「中小企業制度融資」について

1 令和5年度の実績

令和5年度の融資実績は、1,826億円（対前年同期比73.6%、654億円減）となった。

(1) 利用が増加した融資 「伴走支援型特別融資」

「ゼロゼロ融資」等からの借換需要に対応するため、令和5年1月から借換要件等を緩和したことによる

(2) 利用が減少した融資 「原油・原材料高騰等対策特別融資」

令和4年度に信用保証料をゼロとしたため多数の申込みがあり、令和5年度同期との比較において減少したことによる

(単位：億円)

区分	令和3年度 (3月末)		令和4年度 (3月末)		令和5年度 (3月末)		R5-R4 増減額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
(新型コロナウイルス感染症対応資金を含む) 経営安定型資金	経営安定資金 (新型コロナウイルス感染症対応資金を含む)	3,508	778	5,424	1,350	1,006	242	△ 1,108
	新型コロナウイルス関連融資 (新型コロナウイルス感染症対応資金を含む)	3,279	713	434	92	252	64	△ 28
	売上・利益減少対策融資 【新型コロナウイルス要件】	322	89	168	38	1	0	△ 37
	セーフティネット保証5号	248	73	-	-	-	-	-
	新型コロナウイルス対策特別融資 (4号別枠)	371	89	265	54	234	57	3
	新型コロナウイルス対策特別融資 (危機関連保証別枠)	585	93	-	-	-	-	-
	新型コロナウイルス感染症対応資金	1,748	365	-	-	-	-	-
	事業再生サポート融資(感染症対応枠)	5	2	1	0	17	6	6
	売上・利益減少対策融資(新型コロナウイルス要件を除く)	144	37	4,830	1,201	568	123	△ 1,078
	売上利益減少対策融資	141	36	83	19	97	17	△ 2
	原油・原材料高騰等対策特別融資	3	0	4,747	1,181	471	105	△ 1,075
	セーフティネット保証5号 (新型コロナウイルス関連を除く)	0	0	92	34	74	20	△ 13
	借換支援融資	59	19	45	13	85	26	12
	条件変更改善借換融資	1	0	0	0	0	0	0
	リターンアシスト長期保証融資	22	6	19	6	20	7	0
	その他	3	1	4	1	7	1	0
	体質強化型資金	小口零細企業保証資金	1,074	54	1,366	70	2,075	106
小規模事業資金		645	80	732	86	1,116	133	47
事業振興資金		3,513	655	4,272	897	5,007	1,246	348
新型コロナウイルス関連融資		2,925	520	3,442	712	3,877	985	272
コロナ新事業展開対策融資		1,566	235	1,322	178	453	56	△ 122
コロナ・災害対策支援融資		5	2	1	0	-	-	皆減
伴走支援型特別融資		1,354	282	2,119	533	3,424	928	394
生産性向上支援融資	18	8	30	12	32	14	2	
その他(事業振興融資等)	570	126	800	172	1,098	246	73	
ライフステージ別資金	ライフステージ別資金	755	61	968	75	1,221	96	20
	(創業期・拡大期)創業支援融資等	746	57	958	71	1,210	92	20
	(再生期)事業承継関連融資	9	4	10	3	11	3	0
	政策連動資金	5	0	7	1	18	2	1
合計	9,500	1,631	12,769	2,481	10,443	1,826	△ 654	

- ※ 令和5年度実績は対前年同期比で、件数が81.8%、金額が73.6%となった。
- ※ 各融資メニューの金額は億円未満の端数を切捨てる。
- ※ 端数処理の関係で、資金ごとの合計金額の計と「合計」欄の金額が一致しない場合がある。

2 主な取組

(1) 令和5年度

ア 経営安定型資金（緊急的な資金需要への対応）

- ・「ゼロゼロ融資」（32,687件、6,069億円）の利子補給の継続
 - ・「新型コロナウイルス対策特別融資」の継続
 - ・「原油・原材料高騰等対策特別融資」の継続
- 小口枠を設け信用保証料補助を拡充（令和6年1月から6月まで）

イ 体質強化型資金（「稼ぐ力」の回復・強化）

- ・「伴走支援型特別融資」の継続
- 「ゼロゼロ融資」等からの借換需要に対応するため、令和5年1月から借換要件等を緩和

ウ ライフステージ対応型資金

- ・「創業支援融資」の拡充
- 経営者保証不要のメニューを創設し、据置期間を延長

エ 特別相談窓口の設置と融資メニューの受付開始

- ・「ダイハツ工業の生産停止」
特別相談窓口の設置と「経営安定融資（セーフティネット保証2号）」の受付開始
- ・「令和6年能登半島地震」
特別相談窓口の設置と「伴走支援型特別融資」の対象の追加

(2) 令和6年度

ア 経営安定型資金（緊急的な資金需要への対応）

- ・「ゼロゼロ融資」（32,687件、6,069億円）の利子補給の継続
 - ・「原油・原材料高騰等対策特別融資」の継続
- 小口枠を設け信用保証料補助を拡充（令和6年1月から6月まで）

イ 体質強化型資金（「稼ぐ力」の回復・強化）

- ・小口零細企業保証資金の拡充
保証料補助を拡充したミニ枠の新設
- ・「伴走支援型特別融資」の拡充
信用保証料を最大2分の1引下げ（令和6年4月から6月まで）
- ・「事業振興融資」の拡充
据置期間を1年以内、設備資金の融資期間を15年以内に延長

IV 若年者、中高年齢者及び女性等の就業支援の取組について

1 かながわ若者就職支援センターにおける就業支援

39歳までの若年者を対象に、職業紹介機能を持つ国のハローワークと連携しながらキャリアカウンセリング等を実施することで、若年者のニーズに対応した、きめ細かな就業支援を推進している。

(1) 施設の概要

- ア 開設日 平成16年4月27日
イ 所在地 横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル5階
ウ 開所時間 月曜日～土曜日 9:30～18:00(日曜・祝日・年末年始休業)

(2) キャリアカウンセリング

経験豊富なキャリアカウンセラーが、担当制により、利用者一人ひとりの個性や経験、意欲等に応じて、相談を受け、アドバイスを行っている。

<キャリアカウンセリング利用者数> (単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ人数	7,038	5,895	6,744	6,296	6,820
実人数	1,435	1,219	1,245	1,191	1,222

(3) 就職等決定状況

(単位：人)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就職者数等	798	526	617	532	562
職業訓練等	56	36	46	41	44
決定者数計	854	562	663	573	606

2 シニア・ジョブスタイル・かながわにおける就業支援

40歳以上の中高年齢者を対象に、職業紹介機能を持つ国のハローワークと連携しながらキャリアカウンセリング等を実施することで、利用者の多様なニーズに対応した、きめ細かな就業支援を推進している。

(1) 施設の概要

- ア 開設日 平成19年1月30日
イ 所在地 横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル5階
ウ 開所時間 月曜日～土曜日 9:30～18:00(日曜・祝日・年末年始休業)

(2) キャリアカウンセリング

経験豊富なキャリアカウンセラーが、担当制により、利用者一人ひとりのライフスタイルや働き方の希望を踏まえた相談に対応し、アドバイスを行っている。

＜キャリアカウンセリング利用者数＞ (単位：人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ人数	6,272	5,491	6,989	7,043	6,606
実人数	2,312	1,843	2,086	2,148	2,199

(3) 就職等決定状況

(単位：人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就職者数等	925	762	954	934	858
職業訓練等	61	71	92	92	77
決定者数計	986	833	1,046	1,026	935

(4) プラチナ世代専用窓口

令和元年11月25日より65歳以上の方向けに専用窓口を設置して、経験豊富なキャリアカウンセラーが、担当制により、利用者一人ひとりのライフスタイルや働き方の希望を踏まえた相談に対応し、アドバイスを行っている。

＜キャリアカウンセリング利用者数＞ (単位：人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ人数	298	899	1,265	1,339	1,394
実人数	74	201	229	259	321

3 かながわ女性キャリアカウンセリング相談室における支援

子育てをしながらの就業を希望している方に対する職業紹介機能を持つ国の「マザーズハローワーク横浜」内に県が相談室を設け、就職や就業継続に関する悩みに対応したキャリアカウンセリング等を実施することで、女性の多様なニーズに対応した支援を実施している。

また、令和5年度は、地域出張相談の開催会場を増やすなど、相談窓口の強化を図っている。

(1) 相談室の概要

- ア 開設日 平成24年7月13日
イ 所在地 横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル16階
マザーズハローワーク横浜内
ウ 開所時間 月曜日～木曜日 8:30～18:00
(金曜～日曜・祝日・年末年始休業)

(2) キャリアカウンセリング

経験豊富な女性キャリアカウンセラーが、相談者一人ひとりの状況を踏まえたきめ細かなアドバイスを行っている。

<キャリアカウンセリング利用者数> (単位：人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ人数	515	567	679	774	865
実人数	169	145	184	209	237

(3) 就職決定状況

(単位：人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就職者数	39	51	34	43	47

4 就職氷河期世代への就業支援

雇用環境が厳しい時期に就職活動を行ったいわゆる就職氷河期世代（概ね36歳以上56歳以下）を対象に就職活動の基礎から実践まで体系的に学べる実習型プログラムを提供する「かながわジョブテラス」を開講するとともに、合同就職面接会を開催し、就職氷河期世代の採用に意欲的な企業等への就業を支援する。

(1) かながわジョブテラス

<かながわジョブテラスの実績>

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開講期数	2期	3期	3期
参加者数	42人	60人	63人
就職者数	22人	40人	48人

- 令和6年度開講予定期数：3期

(2) 合同就職面接会

<合同就職面接会（かながわ正社員就職フェア）の実績>

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数	4回	5回	5回	5回
参加者数	510人	632人	679人	1,142人
就職者数	18人	51人	103人	129人

- 令和6年度開催予定回数：5回

V 労働相談の取組について

労働者や使用者が抱える労働問題の解決を支援するため、かながわ労働センター及び川崎、県央、湘南の各支所において、電話や面談、オンラインによる労働相談を実施している。

1 令和5年度の労働相談の実績

(1) 相談件数

相談件数は11,472件で、前年度と比較して255件(2.2%)減少した。

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	12,792	11,727	11,472
対前年度比	102.5%	91.7%	97.8%

(2) 相談者の状況

労働者からの相談が9,368件（全体の81.7%）、そのうち、非正規雇用労働者からの相談件数は4,072件（同35.5%）であった。

男女別の状況は、女性からの相談が6,357件（同55.4%）、男性からの相談が5,115件（同44.6%）であった。

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	構成比
労働者	10,552	82.5%	9,610	81.9%	9,368	81.7%
正規雇用労働者	(5,903)	(46.1%)	(5,721)	(48.8%)	(5,296)	(46.2%)
非正規雇用労働者	(4,649)	(36.3%)	(3,889)	(33.2%)	(4,072)	(35.5%)
使用者	801	6.3%	681	5.8%	580	5.1%
その他（求職者、失業者等）	1,439	11.2%	1,436	12.2%	1,524	13.3%
合 計	12,792	100%	11,727	100%	11,472	100%
男性	5,479	42.8%	4,907	41.8%	5,115	44.6%
女性	7,313	57.2%	6,820	58.2%	6,357	55.4%
合 計	12,792	100%	11,727	100%	11,472	100%

※ 端数処理のため、計が一致しない場合がある。

(3) 相談内容

相談内容は、最も多い項目が「労働契約の終了」2,740件（14.3%）で、次いで「職場の人間関係」2,658件（13.9%）、「労働時間」2,209件（11.5%）で、この上位3項目で全体の約40%を占めた。

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	構成比
労働条件	11,441	55.3%	9,810	52.5%	10,016	52.3%
労働契約の終了(解雇・雇止め等)	3,158	15.3%	2,694	14.4%	2,740	14.3%
労働時間	2,195	10.6%	2,064	11.0%	2,209	11.5%
賃金	2,289	11.1%	1,933	10.3%	1,965	10.3%
労働契約・就業規則等	1,295	6.3%	1,131	6.1%	1,210	6.3%
その他労働条件	2,504	12.1%	1,988	10.6%	1,892	9.9%
雇用保険・労災保険	1,078	5.2%	1,081	5.8%	1,079	5.6%
健康保険・年金保険	948	4.6%	1,112	5.9%	1,073	5.6%
職場の人間関係(パワハラ等)	2,611	12.6%	2,377	12.7%	2,658	13.9%
その他(人員整理、合理化等)	4,618	22.3%	4,312	23.1%	4,335	22.6%
合 計(※)	20,696	100%	18,692	100%	19,161	100%

※ 1件で複数の相談内容があるため、(2)と(3)の合計は一致しない。

※ 端数処理のため、計が一致しない場合がある。

(4) あっせん指導の状況

問題解決に向けた労使間の仲介や和解等を行うあっせん指導は44件で、内容は、「解雇・退職」が21件で最も多かった。

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	件 数	構成比	件 数	構成比	件 数	構成比	
総 数	67	100.0%	45	100.0%	44	100%	
内 容 別	解雇・退職	27	40.3%	17	37.8%	21	47.7%
	賃 金	8	11.9%	6	13.3%	9	20.5%
	その他	32	47.8%	22	48.9%	14	31.8%
処 理 別	解決	39	58.2%	33	73.3%	27	61.4%
	打切り	28	41.8%	12	26.7%	14	31.8%
	継続	0	0.0%	0	0.0%	3	6.8%

2 新型コロナウイルス感染症関連の相談

令和5年度の労働相談のうち、新型コロナウイルス感染症関連の相談は113件（構成比1.0%）であった。

相談内容は、労働者からの相談のうち「保険」に関するものが21件（構成比18.6%）と、最も多かった。

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件 数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
労働者	1,114	87.2%	762	87.6%	109	96.5%
休業	436	34.1%	146	16.8%	17	15.0%
解雇・雇止め	83	6.5%	24	2.8%	12	10.6%
安全衛生	82	6.4%	41	4.7%	16	14.2%
保険	49	3.8%	175	20.1%	21	18.6%
その他	464	36.3%	376	43.2%	43	38.1%
使用者	163	12.8%	108	12.4%	4	3.5%
休業	56	4.4%	32	3.7%	0	0%
その他	107	8.4%	76	8.7%	4	3.5%
合 計	1,277	100%	870	100%	113	100%

※端数処理のため、計が一致しない場合がある。

（参考）労働相談事業の実施機関等

相 談 事 業	実 施 機 関 等	対 応 者
一般労働相談	かながわ労働センター及び各支所	職員
出張労働相談	かながわ労働センター及び各支所	職員
日曜労働相談	かながわ労働センター	職員
夜間労働相談	かながわ労働センター及び川崎支所	職員
街頭労働相談	主要な駅前、市役所等	職員、社会保険労務士等
外国人労働相談	かながわ労働センター及び県央支所	専門相談員、通訳
弁護士労働相談	かながわ労働センター及び各支所	弁護士
メンタルヘルス相談	かながわ労働センター	カウンセラー
女性のための労働相談	マザーズハローワーク横浜 マザーズハローワーク相模原	女性職員及び女性弁護士 女性弁護士